

工事写真報告書

工事番号 平成 28 年度

工事名 G 様 邸

工事箇所 屋根・外壁・その他

工事住所 直方市 直方

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



外観



屋根

表面の塗装劣化が進み、雨水を吸って乾いてを繰り返す瓦の割れやズレが生じ、瓦の下の防水シートが破れてくると雨漏れを起こしてしまいますので、割れやズレなどを抑えるために塗装が必要です。



屋根



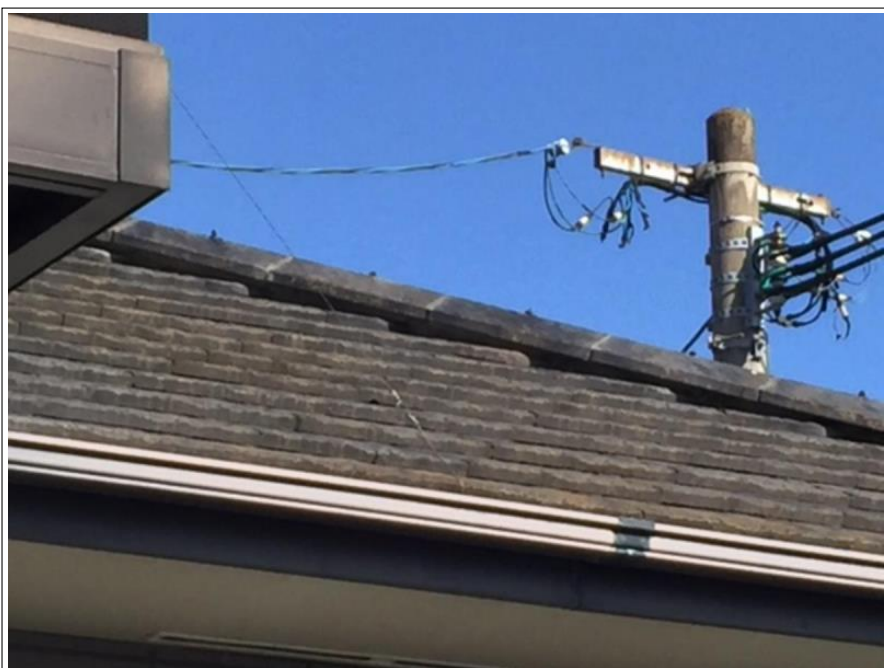
屋根 _____

同上 _____



屋根 _____

同上 _____



屋根 _____

同上 _____



鉄部

同上



屋根

同上



屋根

同上



屋根

同上



屋根

同上



屋根



屋根 白化現象

セメントの灰汁の可能性がありま
す。

施工の際は下塗りを十分におこな
い、湿気をふくむ量を抑える必要が
あります。



屋根 クラック

部分的に見られます。

劣化が進むとクラックが大きくな
り、瓦のズレや破損・さらに劣化が
進むと防水シート・野地板を痛め雨
漏れの原因になりますので、早めの
塗装をお勧め致します。



屋根 クラック

同上



屋根 コケ・藻 発生

屋根の防水効果が低下し屋根材に湿気が多くなり、カビ・コケ・藻の発生が見られます。



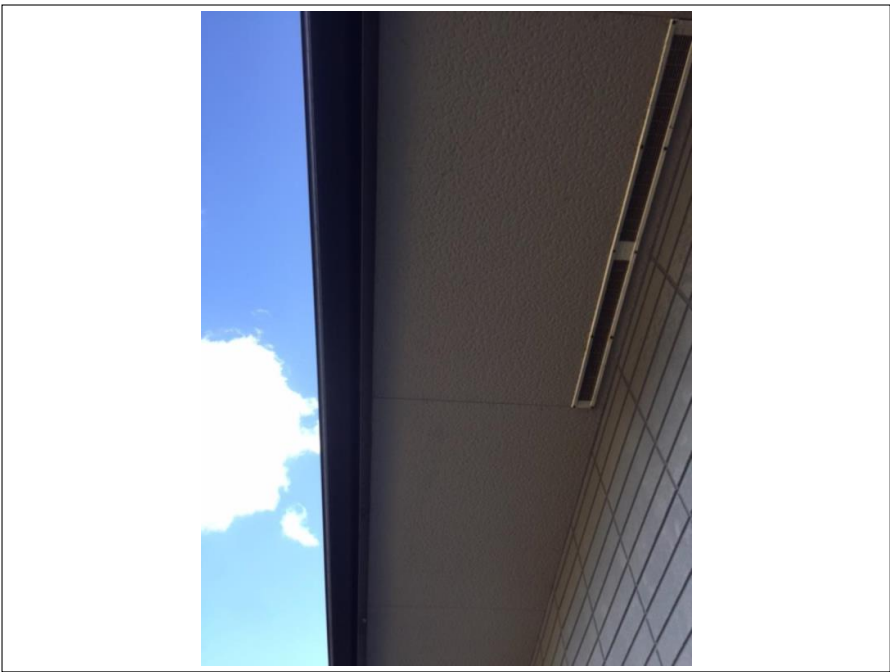
破風板・鼻隠し

経年劣化しています。
劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



帯

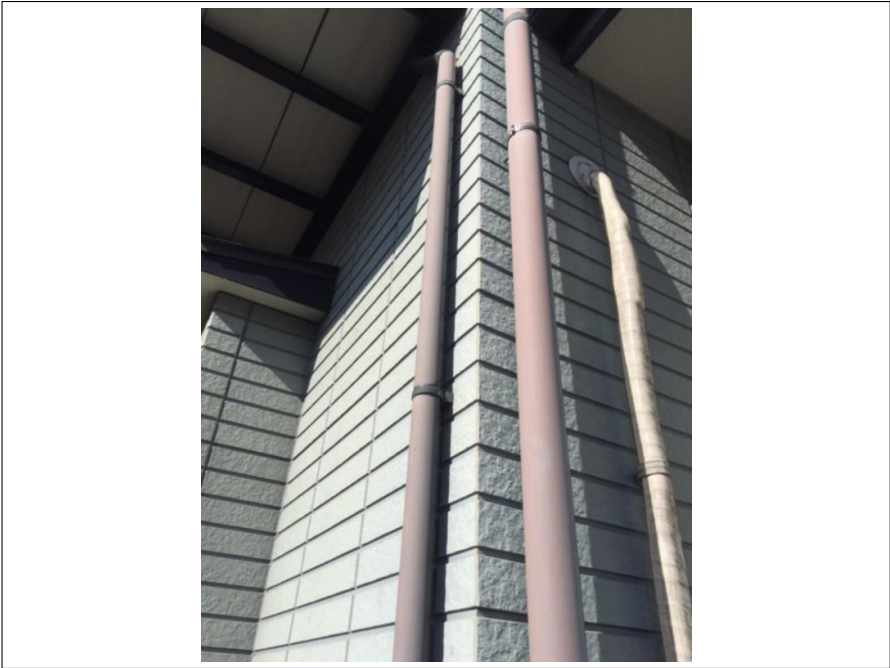
同上



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすること
がありますので、塩ビ専用の下塗り
をおこない塗装をしていきます。



換気フード

この部分は鉄、スチール素材になり
ます。劣化するとサビが発生してき
ますので塗装が必要です。



小庇

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



小庇

同上



土台水切り

同上



塀

地面から水や湿気を吸いはき出す部分になり、この部分に耐久性の高い塗装や膜を張る塗装をおこなうと、膨れる恐れがありますので、通気性の良い塀の塗装をおこないます。



塀

同上



塀

同上



塀

同上



塀 劣化部

旧塗膜の剥離が見られます。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し、塀の劣化や・欠損
等につながりますので、劣化がひど
くなる前の早めの塗装をお勧め致し
ます。



塀

全体的に見られます。
劣化が進むと中の鉄筋がサビで膨張
し、爆裂をおこしてしまいますの
で、劣化がひどくなる前の早めの塗
装をお勧め致します。



塀 クラック部

同上



塀 クラック部

同上



塀 クラック部

同上



塀 劣化部

エフロレッセンス(セメントの灰汁)がでて
います。

地面から水を吸って外にはきだす部
分になり、湿気を含みやすく、新築
施工時に乾ききる前に施工するとで
てくることがあります。

塀には湿気を逃がす塗装が必要で
す。



外壁 現状

この釘等は抜いて塗装を進めていき
ます。



外壁 現状

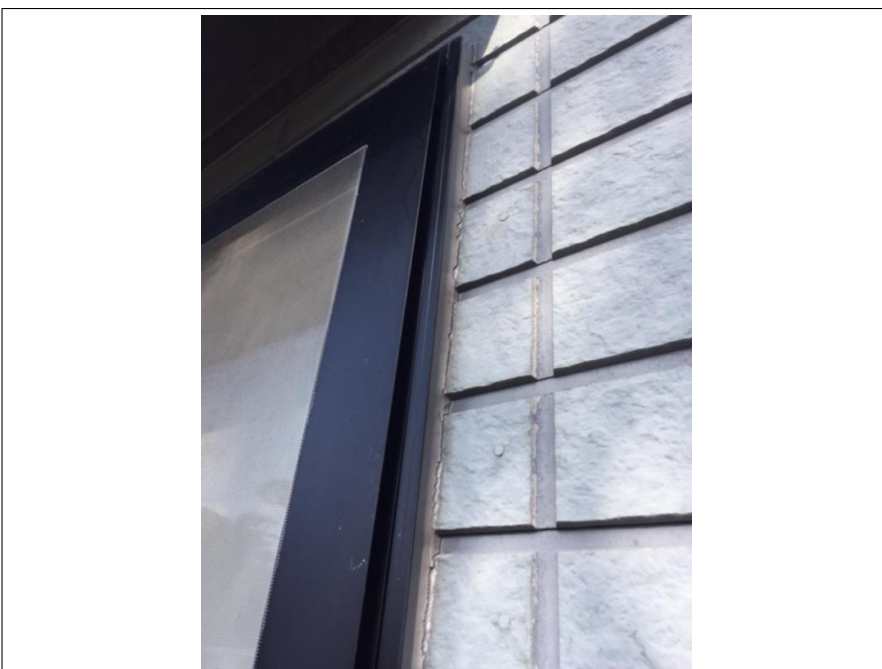
穴はシーリング等で補修をおこな
い、塗装をしていきます。



チョーキング現象

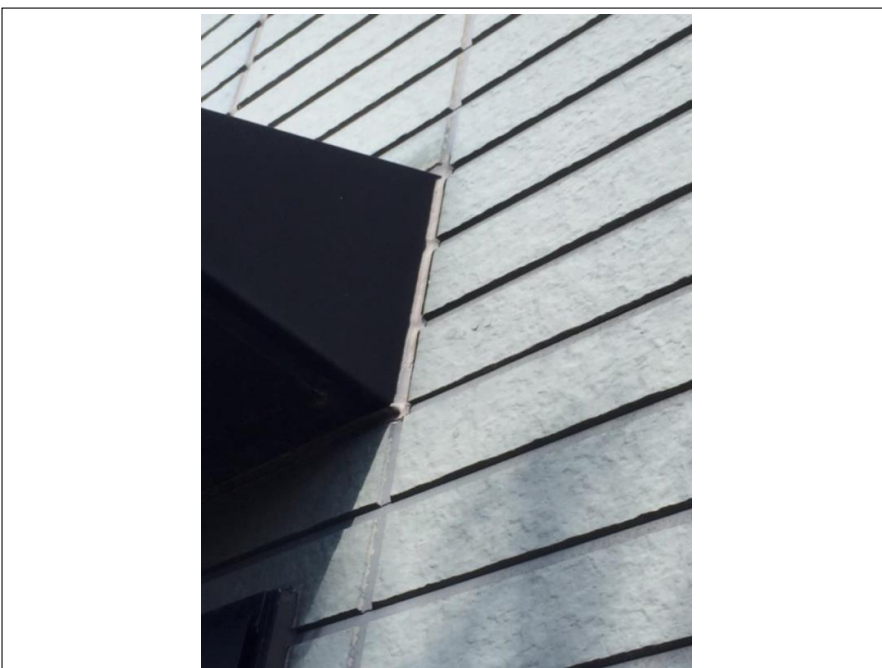
紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



サッシ廻りシーリング劣化部

見落としがちですが、サッシ廻りも劣化している部分がありますので、劣化している部分は打ち増しをおこない塗装をしていきます。



シーリング劣化部

同上



シーリング劣化部

劣化している部分があります。
シーリング補修をおこない、塗装を
していきます。

シーリング劣化部

同上



作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

認定証明書

外装劣化診断士

認定番号：13100230

氏名 戸高 勇樹 様

外装劣化診断士認定試験の結果、基準を満たし合格したことを証します。

平成25年11月10日



一般社団法人住宅保全推進協会